

# 彙 報

会 長 井 上 和 子

## 昭和 59・60 年度常任委員選挙の結果について

選挙規則に基づき、58年3月末で任期満了の常任委員4名に代わる新常任委員の選挙を郵便投票（3月3日締切）によって行った。3月10日に選挙管理委員（大東百合子、奥津敬一郎、田中克彦、田村すず子）立合の上、開票。以下の各氏が当選した。

投 票 者 数 27

うち有効投票数 26

### 当 選 者

B大地区（関東） 長嶋 善郎, 村山 七郎  
次点者：大東百合子, 土田 滋

C大地区（中部・近畿） 堀井令以知  
次点者：崎山 理

D大地区（中国・四国・九州・沖縄） 竹内 和夫  
次点者：早田 輝洋

## 昭和 59 年度第 1 回常任委員会

日 時：4月28日（土）午後1時40分～5時

場 所：国際基督教大学教育研究棟会議室 ERB 247

出席者：井上和子（会長）、池上二良、竹内和夫、野元菊雄、村山七郎

オブザーバー：松本克己（編集委員長）、村木正武（事務局）

欠席者：4名（いずれも委任状あり）

議事ならびに報告

(1) 第88回大会について（研究発表者の選定、プログラムの決定）。

- (2) 昭和58年度決算報告。
- (3) 昭和59年度予算案の作成。
- (4) 第89回大会以降の企画，開催校の選定について。
- (5) 制度検討委員会の中間報告。
- (6) 会費未納者の取り扱いについて（事務局から現状報告，対策討議）。
- (7) 事務局職員の交代について（渡辺恭子の後任として熊谷滋子が任にあたる）。

#### 昭和59年度第1回委員会

日 時：6月9日（土）午前10時～午後1時15分

場 所：慶応義塾大学研究室一階会議室

出席者：井上和子（会長），飯豊毅一，池上二良，今津藤一，岩本 忠，  
上野善道，大東百合子，亀井 孝，北村 甫，日下部文夫，近藤達夫，  
沢田治美，柴谷方良，庄垣内正弘，杉藤美代子，竹内和夫，田村すず子，  
都竹通年雄，寺村秀夫，長嶋善郎，中村 完，野元菊雄，原 誠，  
平山輝男，堀井令以知，前田富祺，松本克己，三宅 鴻，村山七郎，  
矢島文夫，山末一夫，湯川恭敏，吉川 守，吉田金彦（以上34名）

委任状：29名

オブザーバー：服部四郎（副会長），国広哲弥，下宮忠雄（以上会計監査委員）  
村木正武（事務局），鈴木孝夫，西山佑司（以上開催校）

#### 議事ならびに報告

- (1) 事務局職員の紹介（第1回常任委員会報告参照）。
- (2) 第1回常任委員会の報告。
- (3) 昭和58年度決算報告があり，承認される（別表1参照）。
- (4) 昭和59年度予算案が提出され，審議の上これが決定される（別表2参照）。
- (5) 第89回大会は10月13日（土），14日（日）の両日，東北大学（運営委員長 中村 完氏）で開催される。
- (6) 会費未納者の取り扱いについて；これに関して次のような案が事務局

から提出され、審議の上、承認される。

a) 11月末日現在で、その年度の会費を納めていない会員は『言語研究』の発送が停止される。

b) 11月末日現在で、前年度の会費を納めていない会員は退会したものとみなす。

- (7) 国際アジア・北アフリカ研究会議国内委員会への当学会の代表として池上二良氏が選出される。
- (8) 制度検討委員会からの中間報告が委員長小泉保氏代理の堀井令以知氏によって行われる。続いて討議が行われ、出された意見は制度検討委員会でさらに検討されることとなった。

(別表1) 昭和58年度 日本言語学会決算表

自 昭和58年4月 至 昭和59年3月

(単位 円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
B 会 費	6,205,200	1 刊 行 費	3,607,681
C 雜 誌 売 上	227,600	2 編 集 費	200,000
D 文 部 省 補 助 金	720,000	3 発 送 費	303,673
E 預 金 利 息	38,500	4 大 会 関 係 費	784,300
F 雜 収 入	25,234	5 委 員 会 費	22,340
		6 常 任 委 員 会 費	136,520
		7 九 学 会 連 合 会 費	50,000
		8 C I P L 負 担 金	90,200
		9 選 挙 関 係 費	38,098
		10 通 信 費	183,355
		11 事 務 費	467,882
		12 事 務 所 賃 借 料	100,000
		13 事 務 局 職 員 謝 金	1,051,050
		16 雜 費	58,280
		支 出 合 計	7,093,379
収 入 合 計	7,216,534	15 選 挙 関 係 等 準 備 積 立 金	1,000,000
A 前 期 繰 越	2,745,652	17 次 期 繰 越	1,868,807
計	9,962,186	計	9,962,186

## ○ 収 入 内 訳

F 雑 収 入	『言語研究』抜刷増刷代	19,500
	寄付金	5,000
	名簿コピーの実費	734

## ○ 支 出 内 訳

1. 刊 行 費	第 84 号	1,948,996
	第 85 号	1,658,685
3. 発 送 費	第 84 号他	199,693
	第 85 号他	103,980
4. 大会関係費	第 86 回大会	338,464
	第 87 回大会	445,836
5. 委員会費	第 1 回	15,040
	第 2 回	7,300
6. 常任委員会費	第 1 回	35,340
	第 2 回	39,220
	第 3 回	61,960
11. 事 務 費	制度検討委員会経費	276,022
	その他	191,860

〔別表2〕 昭和59年度 日本言語学会予算

自 昭和59年4月 至 昭和60年3月

(単位 円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
A 前期繰越	2,868,807	1 刊行費	4,300,000
B 会費	6,300,000	2 編集費	250,000
C 雑誌売上	180,000	3 発送費	400,000
D 文部省補助金	720,000	4 大会関係費	850,000
E 預金利息	40,000	5 委員会費	30,000
		6 常任委員会費	450,000
		7 九学会連合会費	50,000
		8 C I P L負担金	100,000
		9 選挙関係費	1,000,000
		10 通信費	200,000
		11 事務費	500,000
		12 事務所賃借料	100,000
		13 事務局職員謝金	1,200,000
		14 予備費	500,000
		15 選挙関係等 準備積立金	100,000
		16 雑費	78,807
計	10,108,807	計	10,108,807

## 第88回大会

期 日 昭和59年6月9日(土)・10日(日)

会 場 慶応義塾大学

## 第1日(6月9日)

開会の辞 午後2時より

公開講演 「言語史の再建と言語普遍」 松本克己

「外国語学習の類型について」 鈴木孝夫

会員懇親会 午後5時30分より

## 第2日(6月10日)

研究発表 午前9時30分～12時15分

## ○A会場

(A1) 頻度と不規則性—スペイン語動詞の場合 塩田洋子

(A2) 日本語の受動化構文 井口厚夫

(A3) 措定と指定——ハとガの一面—— 上林洋二

(A4) オランダ語の使役構文と与格構文 川村三喜男

(A5) 基語命令表現からみたインドネシア語の一項・二項述語文

吉村近男

## ○B会場

(B1) Quantification and Negation 北元美沙子

(B2) 英語の従属節 安井美代子

(B3) 能動受動構文の語彙的分析 熊谷滋子

(B4) 「に」格の「作為性」 那須理香

(B5) 否定文の意味解釈について 加藤泰彦

会員総会 午後1時15分～1時35分

研究発表 午後1時45分～4時30分

(6) Proto-Kherwarian の母音体系 長田俊樹

(7) [軟子音] ~ [j] ~ [i] の交替現象について

——多元的音韻理論からのアプローチ—— 田端敏幸

(8) 日本語派生接辞の連結順序について

岩 本 遠 億

(9) 日英語助動詞のパーティクル化現象

澤 田 治 美

(10) 助詞をとらない埋めこみ疑問文

山 本 和 之

閉会の辞

◇物故会員

井田 清人

猪原 慥爾

◇受贈図書リスト (昭和58年11月1日～昭和59年6月10日)

- アスペクト論 (三修社 1984)
- 宇部短期大学学術報告 第20号 (宇部短期大学 1983)
- 英語学大系 5 意味論 (大修館書店 1983)
- 大阪教育大学紀要 第I部門(人文科学)第32巻 第1-2・3号  
(大阪教育大学 1983-1984)
- カナノヒカリ ダイ 736-742 ゴウ (カナモジカイ 1983-1984)
- 外国文学研究 56-60 (立命館大学外国語科連絡協議会 1982-1984)
- 計量国語学 14巻 3-4号 (計量国語学会 1983-1984)
- 研究紀要 第5巻 第1号 (鹿児島女子大学 1984)
- 研究論集 No. 40 (関西外国語大学, 関西外国語短期大学 1984)
- 言語学研究 第2号 (京都大学言語学研究会 1983)
- 言語の世界 vol. 2 No. 1 (「言語の世界」編集委員会 1984)
- 言語文化研究 IX-X (大阪大学言語文化部 1983-1984)
- 言語・文化研究 創刊号  
(東京外国語大学大学院外国語学研究科 言語・文化研究会 1983)
- 考古学雑誌 第69巻 第2-3号 (日本考古学会 1983-1984)
- 国語学 135-136 (国語学会 1983-1984)
- 国語学研究 23  
(東北大学文学部国語学研究所内「国語学研究」刊行会 1983)
- 国語学 研究と資料 第7号 (国語学 研究と資料の会 1984)
- 国立国語研究所年報 34 (国立国語研究所 1983)
- 国立民族学博物館研究報告 第8巻 第3-4号, 第9巻 第1号  
(国立民族学博物館 1983-1984)
- 宗教研究 第57巻 第3-4輯 (日本宗教学会 1983-1984)
- 人文論叢 No. 9 (東京工業大学 1984)
- 人類科学 36 日本の風土 (九学会連合 1984)
- 人類学雑誌 第91巻 第4号, 第92巻 第1号 (日本人類学会 1983-1984)
- 専修語学ラボラトリー論集 第12号 (専修大学LL研究室 1983)
- 朝辞学報 第百八一-第百十輯 (朝辞学会 1983-1984)
- 通信 第49号 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1983-1984)
- 東方学会報 No. 42, No. 44・45 合併号 (東方学会 1982-1984)
- 東方学 第六十七輯 (東方学会 1984)
- 東洋学報 第65巻 第1・2-3・4号 (東洋文庫 1984)

- 名古屋学院大学外国語教育紀要 No. 9  
(名古屋学院大学外国語教育研究センター 1983)
- 新潟大学教育学部紀要 第25巻 第2号 人文・社会科学編  
(新潟大学教育学部 1984)
- 日本学術会議月報 第25巻 第2-4号 (日本学術会議事務局 1984)
- 日本語研究 第6号 (東京都立大学国語学研究室 1984)
- 日本常民文化紀要 第9輯 (成城大学大学院文学研究科 1983)
- 日本民俗学 148-151 (日本民俗学会 1983-1984)
- 文化系文献目録 社会学篇, XXVIII心理学篇 (日本学術会議 1982-1983)
- 文学研究 第八十一輯 (九州大学文学部 1984)
- 方言談話資料 (7) (国立国語研究所 1983)
- 法政大学文学部紀要 第29号 (法政大学文学部 1984)
- 放送文化 1983年 11-12月号, 1984年 1-6月号  
(日本放送出版協会 1983-1984)
- 民族語文 1983 5-6, 1984 1 (中国社会科学出版社 1983-1984)
- みんぱく 1983年 11-12月号, 1984年 1-5月号  
(民族学振興会 1983-1984)
- 山口国文 第7号 (山口大学人文学部国語国文学会 1984)
- 山口女子大学研究報告 第9号 第1部 人文・社会科学, 第2部 自然科学  
(山口女子大学 1984)
- 山口大学教養部紀要 第17巻 (自然科学篇) (人文科学篇)  
(山口大学教養部 1983)
- 山口大学 独仏文学 第5号 (山口大学独仏文学研究会 1983)
- 山口大学 文学会志 第三十四巻 (山口大学文学会 1983)
- 立正大学 国語国文 第20号 (立正大学国語国文学会 1984)
- 論集 第32-33号 (神戸大学教養部 1983-1984)
- ACTA ASIATICA 45, 46 (東方学会 1983-1984)
- A LIST OF FULL TEXTS AVAILABLE FOR DISTRIBUTION OF THE  
PAPERS DELIVERED AT XXXI INTERNATIONAL CONGRESS OF  
HUMAN SCIENCE IN ASIA AND NORTH AFRICA (東方学会 1984)
- alsed* No. 32, 33 (UNESCO 1984)
- Annual Reports Volume 9 1984 (I. C. U. Division of Languages 1984)
- ARBEJDS PAPIRER 1, 2, 3  
(INSTITUT FOR LINGVISTIK KUA 1979, 1981, 1984)
- ArOr* 2, 4 VOLUME 51 1983 (Academia Praha 1983)

*ВЕСТНИК ЛЕНИНГРАДСКОГО УНИВЕРСИТЕТА*

No. 20, No. 2 (Ленинград 1983-1984)

*Bulletin de la Societe de Linguistique de Paris* TOME LXXVIII-1983

FASCICULE 1, 2 (LIBRAIRIE C. KLINCKSIЕCK 1983)

*Commentationes Humanarum Litterarum* 72, 74, 76

(Societas Scientiarum Fennica 1982, 1984)

Cocopa Texts (University of California Publications 1983)

Descriptive and Applied Linguistics Bulletin of the ICU Summer

Institute in Linguistics Vol. XVII (ICU 1984)

LINGUISTIC NECESSITY and LINGUISTIC THEORY

(Uniwersytet ślaski 1983)

*LINGUISTIQUE ET LITTERATURE* 2, 3

(ACADEMIE BULGARE DES SCIENCES, CENTRE

D' INFORMATION SCIENTIFIQUE 1983)

List of Documents and Publications in the field of Mass

Communication (UNESCO 1982)

Litteratura 1983. 4 (名古屋工業大学外国語教室 1983)

*NAŠE ŘEČ* 5 1983

(nakladatelstvi Českošlovenské akademie Věd 1983)

New Communication order 10 (UNESCO 1983)

NEWSLETTER No. 16

(THE SCANDINAVIAN INSTITUTE OF ASIAN STUDIES 1982)

NORDISTIK (Carl Friedrich von Siemens Stiftung 1983)

PHILOLOGIA 16 (三重大学英語研究会 1984)

PROCEEDINGS of the Thirty-First International Congress of

Human Sciences in Asia and North Africa I, II (東方学会 1984)

*Русская литература* 3-4, 1 (Ленинградское отделение 1983-1984)

*Русский язык в школе* 5-6, 1-2 (Москва 1983-1984)

*SLOVO A SLOVESNOST* 4. XLIV-1983, 1. XLV-1984

(ČESKOSLOVENSKA AKADEMIE VĚD 1983-1984)

STUDIA PHONOLOGICA XVII

(INSTITUTION FOR PHONETIC SCIENCES

UNIVERSITY OF KYOTO 1983)

THE ACCENT OF EXTENDED WORD STRUCTURES IN

TOKYO STANDARD JAPANESE (EDUCA Inc. 1983)

XXXI INTERNATIONAL CONGRESS OF HUMAN SCIENCES IN  
ASIA AND NORTH AFRICA Congress Program, Cultural  
Program, Abstracts of Papers I, II, III, List of Participants

(東方学会 1983)

*Українська мова і література в школі* 1983. 9-1984. 4

(Київ радянська школа 1983-1984)

- ◇ 本誌は文部省昭和59年度科学研究費補助金の交付を得て刊行されたものである。

正 誤 表

(『言語研究』84号分)

ページ	行	誤	正
10	26	午後九時二十六分	午前九時二十六分

(『言語研究』85号分)

ページ	行	誤	正
表紙ウラ	6	村田 忠雄	村田 忠男
69	9	[nearness]	[farness]
70	脚注 5	$g > k$	$g < k$
86		岩波最店	岩波書店